

えでぴん

立川と語ろう 立川に生きよう

September 2014

Écoutez Bien Vol.33 No.358

9

「街を歩けば」ポンプ車に乗っています！



表紙の人／小林家住宅 三代（幸町）

八幡神社大ケヤキ

諏訪祭りに奉納される三匹獅子舞。

獅子宿を出発する一行を

静かに見送るのは、大ケヤキ。

前号に引き続き^{ひまつり}日奉氏について少し触れると、立川市歴史民俗資料館 小川始氏の書かれた文章には次のようにある。「立川氏の祖日奉氏は古代品部のひとつ日奉部に起源をもつ氏族で、太陽祭祀を任務としていた。平安末期には武蔵国衙に在庁官人として地歩を固め、多摩郡の分割郡名である「多西」あるいは「西」を称し、武蔵七党のひとつに数えられる「西党」と呼ばれる武士団を形成していった。日奉氏はその職掌から一庁官家と二庁官家に大別され、一庁官家からは書生職が、二庁官家からは国衙の輸送業務を所管する駄所や駄と呼ばれる職掌が分出した。その後、日奉氏一族は多西氏のほか、高幡、上田、田口、平山、土淵、田村(以上日野市)、立河(立川市)、小河、二宮、雨馬(以上あきるの市)、平井(日の出町)などの諸氏が多摩川中流域に分出した。」さらに続けて「日奉氏一族ではじめて立川を名乗るのは『日奉氏小川系図』によれば駄東次宗時という人物であるが、この人は鎌倉時代以前の人物と目され、立川氏が立川市域へ定着したのは古代末ころと推定されている」とある。

さて、むずかしい話はこのくらいにして、柴崎町のケヤキの話だ。立川第一の巨木といわれる「八幡神社の大ケヤキ」は柴崎町1丁目、今は住宅に囲まれてその姿を残している。市天然記念物第一号で、昭和30年3月10日に指定された。鎌倉時代の1252年(建長4年)、すでにその氏を名乗り、一体に勢力を張っていた立川氏により創建された八幡神社の参道右側に植えられていた。樹齢は760年程度となるが、1586年に大きな野火があったのでその後の植栽を考えると、その樹齢は定かではない。

1582年に本能寺の変が起き、1585年には秀吉が関白に就任。1586年3月に、北条氏照に仕えていた立川照重の娘お禰々が八幡神社に本地仏像を奉納した心はどんなものだったのか。座像の阿弥陀如来で、その姿は立川市のホームページ「たちかわ探検隊」にアップされている。同年11月に八幡神社は野火により焼失。1590年、秀吉は30万の大軍を率いて小田原を攻め、北条氏照は降伏。立川氏も離散した。八幡神社は再建後も再びの火災により焼失、再々建されたが、明治40年、諏訪神社に合祀された。

柴崎町で世話人を中心に元禄2年から行われている三匹獅子舞。八幡ケヤキの見守る獅子宿で、今年も325年の歴史を更新する。三匹獅子舞の諏訪神社奉納の儀は8月23日(土)午後4時から、八幡神社奉納の儀は24日(日)午後4時から、いずれも諏訪神社特設土俵にて。



今、変わる時!

立川青年会議所のこれから

公益社団法人立川青年会議所50周年。

7月24日には大々的な記念式典、祝賀会が催された。

理事長に「変革」を聞いた。

——わんぱく相撲やキッズドリームチャレンジ、お疲れさまでした。今年は50周年ということで、記念事業として力が入っていました。

宇都木 わんぱく相撲東京都大会開催が立川でしたからね。わんぱく相撲は、1977年に東京青年会議所が青少年の健全育成を目標に23区全域に展開したことが始まりですが、今では全国204の地域で約45000人もの小学生が参加してくれています。

——5月18日にサンサンロードで行われた立川地区予選の参加も、例年より多かったそうですね。

宇都木 約250人の幼児、児童の参加がありました。

——サンサンロードでは前日から、立川いったい音楽まつりが開催されていて、舞台や飲食の屋台などがあって、「ここどこで相撲をやるんだろう?」「どこに土俵を作るんだろう?」って、えくてびあんのスタッフは心配しちゃいました。

宇都木 (笑)そうですね。でも、そこは譲れなかったんです。青少年健全育成という目的はずっと変わらない。その事業を今までよりもっと多くの人に見せたいと思った。だとしたら一番目立つところで、人の集まる時にやろうと。

それにしても、すごかったですね。あれ以上人が集まったらどうなっていたかわからなかったですね。

——本当に。小学校の校長先生たちも来てくださっていましたね。幼児が多かったようですが、都大会に進めたのは優勝者だけ。

宇都木 小学4年生以上の男女優勝者です。

——サンサンロードに続き、東京都大会は6月29日、立川市子ども未来センターで開催されました。決勝戦2番残しての豪雨というハプニングもありましたが、無事に終了、こちらも大盛況でしたね。

宇都木 都大会も地区予選も事業の目的は同

じです。ですが、この機会を地域発信の1つのチャンスととらえて、街(立川)を丸ごと見せつけちゃおうという都大会は今までありませんでした。青年会議所の事業で終わらせるのではなく、地域と連携して地域のために役立とうと、それを立川から始めようという都大会になりました。実際、本当に多くの地域の皆様にお力添えをいただきました。子供たちの健全育成事業であるわんぱく相撲を軸に、地域の大人たちが角度は違うけれど同じ向きのベクトルを持っているというか、いろいろな関わりをもって、子供たちのためにもっと前のめりになるというか。うちはこんな風に協力できるよという大人が増えてくれたら嬉しいなと。

——青年会議所のメンバーが自分たちの仕事そっちのけでものすごく頑張っているから、ちょっと協力しようか、観に行きだけでも行こうかという地域の方、多かったようですよ。

宇都木 ありがたいですね。これは立川に生まれて育っているからできるんです。自分たちが小さい頃味わってよかったこと、それを子どもたちにも同じようにしてあげたいというフェアな気持ちがあるからやっていけるんです。

——それにしても、ハードですね。わんぱく相撲もそうでしたが、続くキッズドリームチャレンジも12業種の職業体験を経て、子どもが自分たちの手でダンスフェスティバルを開催する。地域の協力企業や自衛隊と関わって、約150人ものお子さんたちをお世話して。取材で一緒にすると、もう、大変。よくなさっているなあと思います。

宇都木 そうですか? 子どもに関する事業は一番人気があります。メンバーはみんな、好きですよ。

——他にはどんな事業をなさっているのですか?

宇都木 地域協働委員会では、4月に立川観

光協会の岩崎太郎さんと「たちママ探検隊」の方々をお呼びして「立川宣伝会議」と題して、シティブロモーション、魅力的な地域発信を考える例会を開催しました。また、今年は女性限定で、市内の無作為5000世帯に「この日にとある場所に来ていただけませんか」と、そして市民レベルで立川の魅力を集約していこうというwellvoiceたちかわ市民討議会も開催し、現在報告書に纏めています。若者の発掘プロジェクトも動いていますし、研修の委員会では自己研鑽に繋げるために自分の魅力発信をゲーム形式で行ったり。あとひとつ、青年会議所の事業の中に国際アカデミーという20年以上続いている事業があります。世界各国の人たちと1週間寝食を共にし研修する、交流事業、民間外交ですが、2011年からこの子供版をYouth Conferenceという名前でを行っています。

——盛りだくさんですね。青年会議所さんの事業は、企画から開催までの期間がものすごく短い。だから紙媒体での告知が難しいですよ。たとえばえくてびあんに掲載するには約2か月前に情報をいただくのが普通なのですが、青年会議所さんの運びはいきなりなんで(笑)。

宇都木 今年はそれでもまだゆっくり念入りに詰めている方です(笑)。

——へえ!告知と同時に開催しちゃってるイメージですけどね。それでもやれちゃうからすごい。

宇都木 そこが青年会議所なんです。メンバーに専門職が多いのでやれてしまう。特に今年は50周年ですから記念事業や式典など例年よりも大がかりな事業がたくさんあって、1年間のスケジュールを見ると、ぞっとしますよ。

——しかもみなさん、ご自分の本業がおありになるわけで…。

宇都木 そうなんです。ですから、青年会議所でなければできない。それも40歳までという期

公益社団法人立川青年会議所 第50代理事長
宇都木健太氏

1975年生まれ。出身は日野市。
ブルデンシャル生命保険株式会社に勤務しながら
理事長を務める。

限があるからできる。これ、ずっとやるとなったらできないですよ(笑)。おっしゃる通り、何かひとつ動かすのに、たぶん他のどの団体より速いと思います。ネットワークも広いので、必ず問題解決する方法を知っている人がいる。多種多様な業界、業種も違う。20歳から40歳までの青年と呼ばれる世代が集まって、自身のスキルアップだけでなく、もっと地域に貢献できるはずですよ。

——そうですね。素晴らしい先輩もたくさんいらっしゃいますし。でも青年会議所さんのイメージってそうじゃないですよね?外と関わるといより、自分たちの事業を外と関わりなく進めるというか…。

宇都木 そこです!見ていてくださいよ。変わりますから。

——2014年度のスローガンですね。『Next 50 今、変革の時 ～確かな一歩を踏み出そう～』
宇都木 そうです。節目の年として、これまでの歴史や伝統を受継いでいかなければなりません。その上で、これからの50年を見据えて新たな1歩を踏み出す、そのために自らの在り方を見つめ直して、自らの思考変革に取り組みたいと思って一つひとつ進めています。

——では、これからはもっともっと青年会議所のお名前が街で聞かれるということでしょうか?

宇都木 今までも関わりは持っているんです。ですが、これまで以上に、メンバーにもっと地域との接点を大切にしよう、と伝えています。青年会議所の組織は知られていても、点と点として、1対1で出会う人たちに、こいつら熱いなと感じてもらいたい。点が繋がり、線に、やがて面になると思うんです。今まではやはり塊でしか動けていない側面があったのかも知れません。

——ええ。よくわかります。

宇都木 育ち、働き暮らすこの故郷(まち)が一番大切なんです。本来青年会議所という組織はトップダウンではないはずで、とことん地域を考える立川青年会議所でいいんです。この地域から東京を、日本を元気にできるような運動をしていきたい。だったら、地域とひざを突き合わせて、泣いたり笑ったりしたい。青年会議所ってわかるけど顔が見えないよねじゃなくて、もっともっと繋がって顔の見える青年会議所にした



いと思っています。

——それには、単年度で交代する組織改編のあり方も変えなきゃならないんじゃないですか?

宇都木 そこも今後を見ていてください。点と点をしっかり繋げていきますから。組織内においても、青年世代が集まって、青年会議所にいる時はメンバーの顔。もう半分の青年経済人としての顔、あるいは、人としての顔が見えてこないのではもったいない。その半分側も見せ合える機会を作ったり、空気感を出していくと、もっと様々な角度で融合できて、人としての厚みも出てくるでしょう。そうすると、組織そのものの魅力ももっと膨らんでくるのではないかと

思うんです。青年会議所にいるともみくちゃんになります。でも成長できるなと思ってもらえるはずですよ。

——今、メンバーは何人ですか?

宇都木 100人ちょっとです。良くも悪くも組織ですから、組織の論理が当てはまる部分もありますね。アクティブに活動する人とそうでない人間の割合とか(笑)。それでも、少しでも前のめりになって動いて行こうとする人間は多い。一人ひとりが、地域社会・地域経済を担う青年経済人として、自らの成長こそがこの地域の発展に繋がるのだという志をもつこと、その確かな1歩を踏み出すことが、今年度の「変革」そのものですね。

立川をまもる力

ポンプ車に乗る女性消防士

日頃から地震や火災に対する備えは怠らなかったとしても、いざ起きてしまったら、頼りになるのはこの方たち。
立川消防署には、こんな強い味方もある。



小田真澄さん。
えてくびあんが出会ったのは平成 25 年の 11 月。実践的教育訓練時だった。明るい笑顔が印象的なお嬢さん。でもやっていることは男性と変わりなく、20kg にもなるフル装備。梯子も上るし、けが人も救助する。野球で鍛えたとはいえ大変だろうと思うのだが、日頃の訓練ではどこまでも自分に挑戦、それが「楽しい」と笑顔で答える。

福岡県北九州市出身。消防車で街を走り抜ける。子供たちが「かっこいい! 頑張ってるね!」と手を振ってくれる時、やりがいを感じるのだそう。消防士には体力が必要、しかし、人として目配り、気配り、思いやりが大切だと常に心がけているという。現場で女性が助けを求めている時、安心して話ができる環境を作れるのはやはり女性ではないか。憧れてなった消防士だが、そこに新たな使命も感じている。

サイクリングにはまって、休日は自転車に乗り夜はお酒もたしなんで。焼肉が大好き。成人式の前撮りは、振袖を着て大人になったような気分だと話すが、後輩もできて、現場へ向かう姿には力強さを感じる。



えくてびあんの輪	
えくてびあんはリストのお店にあります。 今月は 錦町・柴崎町・立川市外 のお店です。	
錦町	日本クッキングスクール ……522-3440 元祖 5 本指ソックス専門店 LASANTE 540-1616 ザ・クレストホテル立川 ……521-1111 美容室 アリス ……525-1100 パンと洋菓子 うちのやブルマン 524-9280 無門庵ギャラリー ……529-2323 FALCO hair ……528-2389 N HAIR WORLD ……523-5336 創作料理 caffe&bar 厨～kuriya～595-7449 TTM(株) ……524-5787 長島昭久事務所 ……548-2700 Bakery Café Crown ……526-2226 日本空手道 佐藤塾 ……548-7460 三田花店本店 ……524-4187 いわさき痛みの整骨院 ……529-5123 にしや薬局 ……525-9212 たましん RISURU ホール 526-1311 たましん 錦町支店 ……528-0511 たちかわ農産物直売所 そば処 高尾亭 ……522-2710 Natural Food Restaurant シェいなば 529-5921 エステランテ ロズまり ……529-3037 Garden&Crafts Café 0120-412-877 至誠学舎立川 ……527-7734 至誠ホーム ……527-0031 至誠介護相談センター ……527-0321
柴崎町	諏訪神社 ……522-2968 毎日新聞社グループ(株) 毎日広告社 522-6121 パスタビーノ はしや ……521-3386 高島ビル ……526-0111 Hair Room MOON ZETTON 523-0961 南武堂剣道具店 ……527-0197 ビジネスホテル小沢屋 ……523-0388 おしゃべりカフェ トーク スペース 527-1636 ESBI 立川南口店 ……526-2947 いなげや 立川南口店(2F) 526-2947 (株) 一心堂 ……527-3777 すがの歯科 ……540-2675 中華 ハルビン ……527-1809 紙匠 雅 ……548-1388 あすなろクリニック ……529-2756 ソレール .Na ……548-8788 ビストロすぎ浦 ……525-9929 入船茶屋 ……524-6266 カレー工場 Haiji ハイジ ……548-0812 チーズフォンデュ&欧風料理 クワトロ 528-2983 串揚げ割烹 トントン ……524-4521 Pasta Frolla 立川南口店 540-8033 レンタルスペース&ギャラリーカフェ 夢工房 843-7818 パセリ ドゥーエ ……525-8486 甘味処 石や ……524-0862 不動産 コマツホーム ……525-5811 芹沢ガラス店 ……522-3065 かみゆい処 わ ……522-8202
立川市外	昭島市 いなげや 昭島郷地店 ……545-4516 ECO'S 昭島店 ……546-3710 武蔵村山市 中国料理 菜 ……561-7233 さえき大南食品館 ……561-7666 国分寺市 パンの店 fermata (フェルマータ) 534-3334

jorakugajo

真如苑提供番組「常楽我浄」

スカパー！：529ch

スカパー！で放送の常楽我浄はスマートフォンアプリ「ivy」(無料)で視聴できます。

J:COM 多摩：111ch

放送時間については番組表をご確認ください。

www.shinnyo-en.or.jp

街の話題

聴かなきゃソン！再生医療の最先端

アベノミクス成長戦略でも重点分野に位置づけられ、近年注目の『再生医療』。今回はそのオーソリティ、田畑泰彦教授が講演されます。基礎研究はもちろん、その研究成果を世の中に還元することが大切と常々おっしゃられる先生は、研究にビジネス視点を導入し、再生医療がより活かされるよう取り組まれています。患者さんの立場に立った再生医療。その最先端をお話下さる予定です。田畑先生のお話、とても楽しみです。

第14回 応現院文化講演会『ここまできた！再生医療』（仮）

日時：平成 26 年 10 月 21 日(火) 14 時開演
（講演時間は 90 分を予定しています）
会場：応現院(立川市泉町 935-27)
主催：応現院文化講演会実行委員会
後援：立川市商工会議所・立川観光協会
立川バス株式会社・エフエムたちかわ
協力：有限会社えくてびあん
協賛：真如苑

【お申し込み方法】

聴講には事前のお申し込みが必要です。ご希望の方は下記要項に従って往復ハガキ、またはインターネットでお申し込みください。尚、お申し込み多数の場合は抽選となります。(定員700名様)
①住所、氏名、年齢、電話番号、希望人数(本人含めて2名様まで)を明記し、往復ハガキで申込先に郵送。
申込先：〒190-0023 立川市柴崎町 2-1-10 高島ビル 4F 応現院文化講演会実行委員会
②PC、携帯電話によるインターネット応募フォームで申し込む。
http://www.bunkakoenkai.jp

復活 立川小唄

えくてびあんに『歌に昔を偲び見る 飛行機の街 ～～立川小唄から～～』を掲載したのは 2012 年 8 月号でした。昭和 5 年に発表された「立川小唄」。28 番まである歌詞を読むと、飛行機の街と言われた頃の立川が浮き彫りになってきます。4 番の歌詞にある「鳩か蜻蛉(とんぼ) かあのサルムソン」のサルムソンは 2 枚羽。赤とんぼと呼ばれていました。
この度の一連のおまつりに併せ、その「立川小唄」が踊りと一緒に復活するそうです。立川でただおひとり、この「立川小唄」の踊りをご存知という栄子さん。立川にはもう他に芸者さんがいなくなってしまったので、今回は八王子は黒堀の街、中町からお姐さんたちが応援に来てくださっての発表会。えくてびあんではそのお稽古の様子を取材させていただきました。栄子さんの踊りを真似て他の芸者さんたちが艶っぽく仕上げていくと、別の世界に引き込まれていくようでした。



講演者プロフィール

田畑泰彦氏

1959 年大阪府生まれ。81 年京都大学工学部高分子化学科卒業。83 年同大学大学院工学研究科博士前期課程高分子化学専攻修了。91～92 年米国マサチューセッツ工科大学、米国ハーバード大学医学部外科客員研究員。96 年生体医療工学研究センター助教授。2000 年より現職。工学博士、医学博士、薬学博士の 3 つの博士号を持つ。著書に『絵で見てわかるナノ DDS』『患者まで届いている再生医療誘導治療』など多数。



【申込期間】

往復ハガキの場合は、平成 26 年 8 月 25 日(月)～平成 26 年 9 月 24 日(水) 必着
インターネットの場合は、平成 26 年 8 月 25 日(月) 午前 10 時～平成 26 年 9 月 24 日(水) 午後 5 時まで
【お問い合わせ】
応現院文化講演会実行委員会
TEL 042-523-9898



地方 三味線 藍さん、笛 理子さん、太鼓 葉月さん
踊り 左から 成華さん、栄子さん、小太郎さん
(写真協力：割烹 すゝ香)

28 番ある歌詞の中から、5 つを選んで踊ります。みなさんは非ご覧になってくださいね。飛行機の街の唄ですから、繰り返されるはやし言葉はこうです。『わたしや飛行機かぜまかせ お前のでようで宙返り オヤクルリトセー ションガイナ』

日時は、8 月 23 日(土) 18 時半 錦町すずらん通りにて開催。

おじゃましてす！—— [28]

カフェ タイニーガーデン

玉川上水に近いロケーション。博物館や図書館、庭園があったらいいなというコンセプト。お店には小さな箱庭があって、落ち着いた色の調度品にアンティークな雰囲気漂わせたアートが置いてあります。木製の本棚には写真集、ウォールギャラリーにも写真が飾られて…。天井の高いお店の中をひとまわりすれば、すっかり緑の中の散歩道。ドリンクはもちろん、スイーツ系も力作ぞろい。「これも自信作です」と出されたベリーベリーパフェ。ブルーベリー、



ラズベリー、ブラックベリーがすてきなアクセント。たっぷりのクリームの中には国産イチゴとバナナ。甘すぎず、すっきりさっぱりしたおいしさです。シフォンケーキはプレーンと抹茶。和風のパフェには抹茶とほうじ茶のアイスクリーム。白玉がツルンと舌に滑ります。ランチには生パスタや自家焼きのクロワッサンプレートはいかがでしょう？写真はベーコンエッグプレート。卵にこだわりがあります。濃厚な美味しさをお試しください。通いとなるカフェ、立川にまたひとつ。

[29]

IL COVO

おいしいので、行ってみてください。それが売りというよりも、おいしいものを提供したいという気持ちを追求したら、パスタもピッツァも自家製になりました。写真はランチセットから。今回はジェノベーゼをお願いしました。麺の食感はモチモチです。濃厚なソースによく合います。もちろんソースもシェフオリジナル。サラダには山盛りのオリーブとツナ。ドリンクは選べます。

一方、ピッツァ。お客様のご要望に应运え、7 月から焼いています。これがまた、とてもおいしい。実は以前、柴崎町にお店があった時は薪釜ナポリピッツァを出していましたが、味を知っているお客様は食べたいですよ。それが人情というもの。そこで、再びの登場です。今回はちょっとお値段のはるクワトロフォルマッジを焼いてもらいました。お好みではちみつをかけていただきます。カンパニール、ゴルゴンゾーラ、ロックフォールにパルメザン。



ん～、チーズ好きにはたまらない。ランチには出てこない熟成肉のお料理もおいしくて、ランチで終わらせたらもったいない！

時間と空間を楽しめます



〒190-0001
立川市若葉町 3-64-9
TEL 042-507-1346
営業時間 10：00～18：00
定休日 日、月、祝
店内は禁煙です



ランチで終わらせたらもったいない！



〒190-0022
立川市錦町 1-2-10 新井ビル B 1
TEL 042-595-9071
営業時間 ランチ 12：00～
ディナー 17：30～
定休日 不定休(お問合せください)



表紙の人

小林秀和さん、好子さん、勝美さん
かおりさん、達也君、瞳ちゃん

立川市指定有形文化財の小林家住宅。川越道緑地古民家園にあります。小林家住宅は、小林さんご一家が現在お住まいの幸町 4 丁目にありましたが、平成元年文化財に指定され、解体・復元工事を経て平成 5 年、現在の場所に移転しました。武家住宅に匹敵する格式の高さ。秀和さんはこのお宅で生まれ育ち、好子さんはこのお宅にお嫁にきました。ご長男の勝美さんもここで生まれた御曹司。先代のお祖父さん、お祖母さんにとってもかわいがられたそうですよ。かおりさんがご連絡くださったおかげで、記念すべき三代の撮影ができました。この日はあいにくの雨。達也君も瞳ちゃんも、時間のかかった撮影でしたが、がんばってお付き合いました。



かたこと

当社のスタッフによりますと私の文章は「落語」みたいだそうです。まあ、私は落語が好きなので、それはほめ言葉と受け止めております。

今回は、その落語のお話。大阪の落語は上方(かみがた)落語といいます。東京の落語とは少し違います。

「時そば」という落語をご存知ですか？ある男が屋台のそば屋で、小銭で払うからと数えだし「8」と数えたところで「今何時？」そば屋が「九つですかね」と言うのに続けて「10、11…16」勘定を誤魔化して得をする。それを見た別の客が、翌日、同じようにやってみるがうまくいかないという話(時刻が早すぎた)。

上方落語では「時うどん」という話になります。こちらは二人連れ、二人足しても手持ちが足りない、兄貴分がうまくいことやると弟分のお金も受け取って、うどんを一杯注文、俺の分も食べさせろとうるさい弟分を制して大半を食べてしまう兄貴分、勘定はうまく誤魔化し、えらく感心した弟分が翌日に真似をするがうまくいかない。この時、いない兄貴分とのやり取りまで真似るので、うどん屋に「お客さん大丈夫ですか？」と変な奴だと気色悪がられる。気色悪いはわかりますか？気味が悪いことです。

私の説明ではわかりにくいかもしれませんが、ユーチューブなどで一度ご覧ください。(小ねたジロー)

えくてびあん ⑥

9月号 第33巻 通巻358号

平成 26 年 9 月 1 日発行
発行 有限会社えくてびあん
〒190-0023
東京都立川市柴崎町 2-1-10 高島ビル 4F
TEL 042-528-0082 FAX 042-528-0065
E-mail message@tamatebakonet.jp
URL http://www.tamatebakonet.jp
発行人 黒須 環
企画・写真・編集 えくてびあん編集スタッフ
デザイン 池田隆男 (WATER DESIGN ASSOCIATES)
印刷 三浦印刷株式会社

無断転載を禁じます。



料理長はこんな方—— 昭和記念公園 ふれあい広場レストラン

焼き立てパンがおいしいと評判のふれあい広場レストラン。昭和記念公園立川口から入場すると、最初に出会うレストランです。シェフはこの方、小川守哉さん。季節メニューをいただきました。暑い時期にうれしい「ドライカレー風 タコライス」と「マンゴータルト」。ピリッとした辛さにチーズがからまって、いやいや、これは食べやすい。若いパティシエがタルトの生地から仕上げたケーキも、甘すぎずおいしいです。これから先もきっと季節のおいしいメニューが登場することでしょう。秋の味覚はなんでしょう？ 昭和記念公園で食べる楽しみがまた増えました！



今年もきれいに咲いています



立川にはきれいなハスの花を見ることができる場所があります。昭和記念公園砂川口に近い「こもれびの里」と、泉町にある応現院です。応現院のハスは大賀ハスだそうです。2000年以上も前の種から発芽、開花したことで有名ですね。

ベスト16に入りました

夏の高校野球 西東京大会。今夏も立川の高校、がんばりました。もちろん望むところはもっともっと上位であったに違いないのですが、それでも強豪の揃う西東京。よく粘ったと思います。最後までハラドキドキの昭和第一学園 vs 佼成学園。昭和第一のチームには粘りがありましたね。都立立川国際中等教育学校 vs 國學院久我山。都立高校のノビノビ感たっぷりの全員野球。4回戦で当たった國學院久我山は強豪中の強豪。応援の数も音量も段違いの中、お疲れさまでした。

そして都立立川高校 vs 八王子。1戦ごとに強くなる立高。シード校相手にどんな試合展開を見せてくれるか、市民の期待を背負っての試合でした。応援席も総立ちの応援。えてびあんももちろん応援に行きました。残念ながら負けてしまいましたが、それでも128チーム参戦の西東京でベスト16に入ったのはすごいことです！試合の様子は多摩てばこネットのスタッフブログにアップされています。

立川国際中等教育学校 vs
國學院久我山高校



立川高校 vs 桜町高校